

# 2020フジパンCUP東海ユースU-12サッカー大会静岡県大会 中西部予選 要項

趣 旨	静岡県の将来を担う少年たちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことの出来るようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていくよう、文化として醸成していくことを目指す。指導者はエントリー選手全員出場に向けて努力する。
主 催	一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部
主 管	一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部4種委員会
特別協賛	フジパングループ
期 日	2020年9月22日(祝)
会 場	大井川多目的Cグラウンド
参加資格	① 本大会趣旨に賛同するチームであること。 ② (一財)一般財団法人静岡県サッカー協会に登録した12歳以下(6年生～4年生)の選手であること。 ③ 選手は個人登録しており、スポーツ安全保険に加入していること。 ④ ベンチに入る監督、コーチは、(公財)日本サッカー協会公認コーチ資格(D級以上)を有しなければならない。
参加チーム	前年度のしずぎんカップ県大会出場の5チーム
チーム構成	① 大会エントリー表に記載された選手・指導者(代表者・監督・コーチ)・医療従事者に大会出場資格が与えられる。 ② エントリー登録数は選手25名以下、指導者7名以下、医療従事者1名以下とし、当日、試合毎にベンチに入ることができる。 ③ 選手・指導者・医療従事者はエントリー表に記載された中から、選手16名以下、指導者2名以上5名以下(医療従事者を含む)を選出する。 ④ エントリーされた選手・監督・コーチは、次の方法によりJFA登録(顔写真必須)についてチェックを受けなければならない。 選手は登録選手一覧を印刷したもの又は個別の選手証を印刷したものでチェックを受けなければならない。 監督・コーチは、印刷されたライセンス証によりチェックを受けることが望ましいが、ライセンス証を電子媒体による画面表示することでチェックを受けても良い。印刷されたライセンス証でチェックを受けた場合は、首からかけることを推奨する。
競技方法	① トーナメント方式で行う。 ② 試合時間は、15分→5分→15分とする。 ③ 同点の場合は延長を行わず、PK方式(3人)で勝者を決定する。 ④ 熱中症対策として、「熱中症対策ガイドライン」に沿って試合を実施する。測定は、各試合開始前とハーフタイムにセンターサークルで1分間とし、ハーフタイムで数値が変わればその数値に従い試合の判断をする。試合途中でWBGT=31℃以上になった場合は試合を中止しその時点でその点数で勝敗を決める。なお、試合進行時間の変更などの判断については、本部において協議し決定する。 WBGT=31℃以上→PK戦(3人)、28℃以上→CoolingBreak3分、25℃以上→CoolingBreak3分又は給水タイム、21℃以上→給水タイム、21℃未満→給水タイムをとることができる。
競技規則	① (公財)日本サッカー協会8人制競技規則及び(一財)静岡県サッカー協会4種委員会県大会要項並びに県大会試合細則に準ずる。 ② 選手交代は交代ゾーンを設ける。また、交代人数・回数とも制限しない。一度退いた選手がその試合中に再び試合に出場することができる。(自由な交代を認める。) ③ ベンチに入る交代要員はピッチ内選手と違う色彩の服を着用する。(ピブス可) ④ GK交代の場合は、アウトオブプレー中とし、主審・補助審判の承認を得て交代ゾーンより交代する。 ⑤ GKがFPへポジションを変える場合、パンツ・ストッキングはそのままで、他の選手と重複しない番号あるいは番号なしのFPのユニホームを着用する。 ⑥ FPがGKへポジションを変える場合、シャツを交換するだけで良い。また、ピブスも可とする。 ⑦ 退場者があった場合は控えの選手を補充できる。 ⑧ 一方のチームが6人未満になった場合、試合は成立しない。 ⑩ ピッチサイズは縦60～68m×横40～50mとする。ゴールは少年用(2.15m×5.00m)を使用する。 ⑪ グリーンカード制度を導入する。
審 判	① 2人審判制とし、主審及び補助審判員とも3級以上とする。 ② 原則としてチーム帯同(ベンチ入り可)とする。ただし、決勝戦のみ中西部派遣とする。 ③ 審判を行う者がベンチに入る場合であっても、担当する審判の試合開始20分前には打ち合わせが開始できる状態に在ること。(審判着のままベンチに入ることは許されない。)
ユニフォーム	① 参加チームは背番号と同じ番号がユニフォームの胸又はパンツの前面(前側面)に付いた完全に異色のユニフォームを2組(正・副)用意することが望ましいが、ない場合はピブスでも可とする。 ② 背番号は1～99の整数を使用し、0、00は避ける。1番からの通し番号でなくても構わない。 ③ 縦縞、横縞のユニフォームは台地を使用し背番号が明確にわかるようにする。 ④ シャツ(GK含む)の色彩は通常、審判員が着用する黒色と明確に判別し得るものとする。
試 合 球	公認4号球とし、本部が用意する。
そ の 他	① 試合開始時刻に間に合わないチームは失格とする。また、試合開始10分前には待機し、円滑な試合進行に協力すること。 ② 試合開始・試合終了時のセレモニーは行わない。円陣も組まないこと。 ③ 試合終了後は相手チームベンチへあいさつに行かず、直接自チームベンチへ戻り、速やかにベンチを空けること。 ④ 選手・指導者ともにベンチ内では一定の距離を確保すること。一定の距離が確保できない場合は、マスクを着用すること。 ⑤ ベンチに入る代表者・監督・コーチは常に紳士的な態度で行動をとらなければならない。ゲーム中は選手が自由に判断し、様々なプレーにトライできるようにサポートする場となるよう心がけること。なお、チーム代表者は応援者に対しても、常に紳士的な態度で応援を心がけるよう指導しておくこと。 ⑥ 大会要項及び県4種委員会県大会試合細則に規定されていない事項は、中西部支部4種委員会にて協議の上決定する。 ⑦ エントリー表は受付時に1部提出し、選手チェック用とする。また、試合開始30分前までに先発メンバーを記入したエントリー表を本部と相手チームに各1部提出する。 ⑧ 本大会はマッチウエルフェアオフィサーを置く。 ⑨ 新型コロナウイルス感染対策のため、大会当日に大会参加同意書(様式1)及び健康管理チェックシート(様式3)を本部に提出すること。 また、選手・指導者(代表者・監督・コーチ)・医療従事者・審判員は大会2週間前より体温をチェックすること。

## 2020年度 コロナウィルス感染症対策としての大会開催規定

大会要項および4種委員会細則に規定されていない事項は4種委員会協議の上決定するとあり。

1. 試合形式は※リーグ戦無し→トーナメント戦に変更する。  
【しんきんカップ・しずぎんカップ】  
※試合数減らし密を防ぐ対策を講じる 【午前の部 午後の部】 するなど
2. 開会式・閉会式を行う場合には、密にならないように少数チームで対応する。
3. 出場チーム数は減少しても【安全な対策に費用をかけて欲しい】 安心なチーム。

大会出場規定に(コロナ感染対策対応規定 下記 1.2.3.4 を追加する)

1. 県大会出場が決定したチームの登録指導者・選手にコロナ感染者が発生した場合試合開始までの期間 14 日以内での発症の場合チームは棄権とする。  
※ 代替えチームは地区推薦可能
2. 県大会出場が決定したチームの登録指導者・選手の家族にコロナ感染が発生した場合指導者・選手が濃厚接触者となり、PCR 検査後に陰性となっても 14 日間程度の隔離となるが、その場合でもチームは棄権扱いとします。  
※ チーム関係者は感染予防には万全の準備をすること。
3. 当日の会場に入場するには、規定した健康チェックシート【同意書】を記載し本部に提出することを条件とする。 ※過去 14 日以内の検温実施したデータ等記載。  
スポンサー様等も同内容にて健康チェックシートは提出していただくこととする。  
★ コロナウィルス感染対策責任者がいるチームにすること。  
★ コロナウィルス感染対策チェックリスト JFA チーム用を遵守しているチームであること。  
★ 参加同意書兼健康チェックシート JFA 版【チーム用 個人用】を提出できるチームであること。
4. 大会会場入り口受付では、必ず検温をし、37.5 度以上の体温の場合は入場できない
5. 各チームともマスク、除菌スプレー、除菌シート、洗浄薬(石鹸)等は必ず持参する。
6. 会場では 3 密を避けた配置を心がける。ベンチ等の席列にも工夫をする。